

鳥取県高齢者の元気と福祉のプラン（平成24～26年度）（鳥取県老人福祉計画及び介護保険事業支援計画）に関する意見募集結果及びその対応について

平成24年3月26日 長寿社会課

【具体の施策】

意見概要	検討結果(案)	備考
現状分析において中山間地の課題が取り上げられているにもかかわらず、具体の施策の中にあまり取り上げられていない。地区・地域を単位とした地域福祉の推進を盛り込むべき。	御指摘を踏まえ、具体の施策の中に盛り込みます。	その他
傾聴ボランティアについて、ボランティアの養成や希望者とボランティアのマッチングなど、制度の普及啓発を推進してほしい。	御指摘を踏まえ、具体の施策の中に盛り込みます。	県民説明会
特別養護老人ホームの整備については、利用者の所得も勘案して、多床室など低価格で利用できる施設整備を進めてほしい。	利用者の所得の観点から多床室を整備することは適切ではないと考えます。 低所得者の負担軽減については、社会福祉法人が行う利用者負担軽減制度の普及に取り組みます。	県民説明会

【その他】

意見概要	検討結果(案)	備考
障害者の親が介護状態になったら、優先的に特別養護老人ホームに入所できるようにしてほしい。	県内施設においては、入所に関する選考基準を定めた上で、要介護の状況や認知症の程度、介護者の有無等をもとに公平公正に入所者の選考を行っていますので、御理解願います。	ファクシミリ
成年後見制度の情報がもっとほしい。	市町村のみでは対応が困難な事案に対応するため、東中西部の圏域ごとに成年後見支援センターの設置に向けた支援をするとともに、制度全般について広く県民にPRします。	ファクシミリ
プランの目標等、もっと詳しく教えてほしい。	2/19に県民説明会を開催するとともに、今後も要望があれば自治会等への出前説明会を実施します。	メール
市町村が実施している金婚式表彰は、本来身内の者が行うべきものであり、厳しい財政事情の中見直しを図ってほしい。	御意見あった旨、市町村に伝達したいと思います。	ファクシミリ

～以上、パブリックコメントや県民説明会の実施によるもの～

手持ち資料

参考【第4回策定委員会（2/1）での委員からの意見】

意見概要	検討結果(案)	頁
認知症に対する取組が具体の施策に入っているが、大きな問題であり、施策体系にも記載すべき	認知症対策は重要な課題であり、施策体系に追加記載	【対応】
認知症予防は、身体予防だけでなく、心のケア(きちつと相談に乗ってあげること)が大切 具体の施策にも取り上げてほしい	具体の施策に追加	【対応】
認知症の取組で、今後は子どもやPTAなど教育現場での周知が必要	〃	【対応】
鳥取型システムを支える人たちのイメージ図、支えるのはサポーターや我々家族の会のような組織もある	記載内容を修正	【対応】
基本目標や施策体系について、「介護事業者や病院等が中心となって・・・支え愛」って、中心となるのは地域住民等では？	よりわかりやすいよう記載内容を修正	【対応】
支え愛コーディネーターや生活介護支援サポーターの数が少ない、これらのコーディネーター、サポーターを増やす取組を実施すべき	コーディネーターの養成は既に市町村や社協で実施しており、県としては広域的な取組等を実施していく	【対応】
高齢者を地域で支えていくには、市町村や市町村社協の役割が重要 これらの連携に係る施策について書くべき	具体の施策に記載済	
傾聴ボランティアの取組を取り上げてほしい	具体の施策に追加	【対応】